

(様式 4・1)

令和 8 年 1 月 19 日

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報の公開について

当センターでは、下記の研究を実施しています。

この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて、研究対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、情報を公開することにより実施しています。

この研究に関するお問い合わせ、研究参加への拒否依頼などがありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

記

研究課題名	アルコール使用障害患者におけるカルシウム摂取実態と骨粗鬆症リスク認知 — DIP 法を用いた骨密度測定を含む二次予防モデルの検討 —
研究責任者 所属・氏名	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪精神医療センター 栄養管理室 八木翼
研究概要	アルコール使用障害患者は、過度の飲酒に加え、低栄養・低活動・日光浴不足など複数の骨粗鬆症リスク因子を有していることが多いため、同年代健常者より骨粗鬆症リスクが高いことが考えられます。アルコール依存症領域において骨粗鬆症の予防的介入を行うことは、患者さまの健康寿命延伸に寄与する可能性が高いと考えられます。 本研究では、当院のアルコールリハビリテーションプログラムへの参加歴もしくは栄養指導歴のある患者さまにおけるカルシウム摂取量、飲酒と骨の健康に関する認知度、および DIP 法による骨密度の現状を後方視的に把握し、アルコール依存症領域における骨量減少の早期発見と進行の抑制を目指す骨粗鬆症二次予防の必要性を明らかにし、今後の実践モデル構築の可能性を検討することを目的としています。
研究対象者	当院のアルコールリハビリテーションプログラムへの参加歴もしくは栄養指導歴があり、2024 年 12 月 1 日～2025 年 11 月 30 日までに 1) 管理栄養士による面談またはプログラム内ワークにおいてカルシウム自己チェックを実施し、併せて「飲酒と骨の健康」に関する質問項目に回答した方 2) 上記に加えて DIP 法による骨密度測定を当センターで実施した方が対象となります。

研究実施期間	研究実施許可されてから 2027 年 12 月 31 日まで
研究計画書などの研究関連資料の入手方法、または閲覧方法	本研究の研究対象者が、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手または閲覧をご希望される場合、他の研究協力者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障のない範囲で入手、または閲覧ができます。以下の問い合わせ先にご連絡ください。
個人情報の保護の方法	取り扱う情報は、氏名、住所、生年月日、電話番号等の個人を識別できる情報を削除した上で研究・解析に使用する。ただし、追跡調査を行う時のために、患者 ID 番号の代わりに任意の ID 番号を付け、患者を特定できる対応表を作成する。対応表は当センター電子カルテ端末に保管する。
個人情報の開示に係る手続き	下記、問い合わせ先に連絡ください。
問合せ先	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪精神医療センター 栄養管理室 八木翼 (代表)072-847-3261